



仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

令和4年度第3号(通算第76号)
令和4年8月31日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所



秋保温泉地に新鮮ミルクを使った酪農家直営のジェラート工房誕生！
【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】・・・1



第70回浅海増殖研究発表全国大会が開催されました！
【水産漁港部】・・・2



農業大学校先進農業体験学習に係る事前の学生訪問を実施しました
【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・2

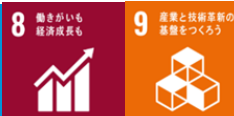


「田んぼダム」に係る仙台圏域勉強会を開催しました
【農業農村整備部】・・・3



ドライブ＆家たびスタンプラリーを開催します！
【地方振興部】・・・3

秋保温泉地に新鮮ミルクを使った酪農家直営のジェラート工房誕生！ ▶農業振興部（仙台農業改良普及センター）



仙台市太白区にある秋保柴田牧場では、「令和3年度フードバリューチェーン構築基盤整備事業」を活用し、自家で搾乳した新鮮牛乳を原料としたジェラート工房「KOMOREBI gerato」を7月8日にオープンさせました。

当牧場のある秋保地区は、仙台市中心部から近い県内有数の温泉観光地です。当牧場に対し、地元ならではの乳製品等を提供してほしいとの要望が地元飲食店や旅館・ホテル等から多く寄せられており、オープンが待ち望まれていました。

お店は、店名どおり自然豊かな木もれ日の中にあり、ログジ風の素敵な建物です。店の周囲にはウッドチップを敷いた散策路が整備され、ジェラートを食べながら散策できるようになっています。

ジェラートはシングルカップ420円、ダブルカップ520円で販売。営業日は金・土・日・月の週4日。営業時間は10時～16時です。オープン以来、お客様が絶えることなく大勢訪れ、好評を博しています。

経営主の柴田耕太郎さんと香奈さん夫婦は、さらにおいしい牛乳を生産し、お客様においしいジェラートを提供したいと日夜研鑽に励んでいます。

仙台農業改良普及センターでは、お二人のこれからのがんばりを応援していきます。



ジェラート工房「KOMOREBI gerato」全景



経営者のお二人

▶水産漁港部

全国海苔貝類漁業協同組合連合会が主催する第70回浅海増殖研究発表全国大会が、6月9日（木）に塩竈市で関係者約100人の出席のもと、開催されました。本大会はノリ養殖やアサリ増殖などにおける、全国各地での研究成果の発表や情報交換を行う場で、これまで毎年開催されていましたが、新型コロナウイルスの影響により3年ぶり、また宮城県においては20年ぶりに開催されました。

「宮城県のり養殖問題研究協議会」の副会長である宮城県漁業協同組合塩釜市浦戸支所の千葉周氏が「宮城県のノリ養殖の震災からの歩み」として東日本大震災で甚大な被害を受けたノリ養殖の復興について報告しました。内容は、全国の多くの方々から頂いた支援に対する感謝を伝えるとともに、これまで実施していなかったワカメ養殖などによる収入を得ながら、補助事業の活用により施設を復旧してノリの生産活動を再開したこと、復旧の過程で協業化が進んだことで作業の分業化・効率化が可能となったこと、また、今後の海洋環境の変化に対応するための技術として、水温観測ブイの設置や高温耐性種の試験養殖などの取り組みについて説明しました。この発表は審査員に高く評価され、最高賞である農林水産大臣賞に次ぐ「水産庁長官賞」を受賞しました。

今回の受賞が励みとなり、本県のノリ養殖業がより一層発展していくことが期待されます。



千葉周氏発表の様子

農業大学校先進農業体験学習に係る事前の学生訪問を実施しました▶農業振興部（巨理農業改良普及センター）



7月29日(金)、巨理農業改良普及センター管内で宮城県農業大学校先進農業体験学習を受講する大学校生13人を対象に、研修先の経営体への事前訪問を実施しました。

先進農業体験学習は、宮城県農業大学校1年生のカリキュラムで、研修先の栽培技術や作業スケジュール組立てなど、大学校では学べない生きた経験ができる貴重な機会です。本年度は9月5日から10月7日までの33日間の研修となります。

今回、研修先と初めて顔を合わせるようになった学生は、始めは緊張していましたが、次第に会話も弾み、研修中の注意事項などを書き留めてしていました。研修先からは、「元気があっていいね。研修待っているよ。」と声を掛けていただきました。

先進農業体験学習を通し、大学校生が大きく成長するのが楽しみです。普及センターでは、引き続き、地域の担い手の確保・育成に努めてまいります。



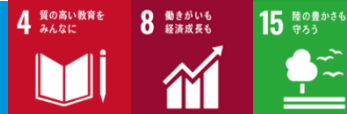
開会の様子



研修先訪問の様子

「田んぼダム」に係る仙台圏域勉強会を開催しました

▶ 農業農村整備部



7月21日（木）、宮城県仙台合同庁舎において、「田んぼダム」に係る仙台圏域勉強会を開催しました。「田んぼダム」とは、田んぼから排水路に水を落とすための落水柵に、元々の落水口より小さい口径の堰板（せきいた（調整板））を設置し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、田んぼからの排出量を抑制し、ゆっくりと排水することで、農地や市街地の洪水被害を軽減する取り組みです。

近年、豪雨による水害が頻繁に発生しており、水害のリスクの増大が懸念されている中で、営農しながら取り組むことができる「田んぼダム」は、全国で注目されています。宮城県でも流域の防災、減災に貢献するために、普及拡大を推進しています。

今回の勉強会では、県、市町村、土地改良区の担当者を対象に、「田んぼダム」の役割や効果、支援事業等について説明を行い、各市町村の取り組み状況や方法について意見交換しました。今後も、実証ワーキング等を通じて、普及拡大に向けた取り組みを検討していきます。



勉強会の様子

ドライブ＆家たびスタンプラリーを開催します！

▶ 地方振興部



9月2日（金）から11月30日（水）まで、仙台・松島湾エリア（※1）と山形県東南村山エリア（※2）で、車でお出かけしながらおすすめスポットを巡る「めぐって！ドライブスタンプラリー」を実施します。対象スポットでスタンプを集めた方は、両エリアの特産品プレゼントに応募できます。

お家にいながらクイズに答えて旅行気分を楽しめる「おうちで！家たびスタンプラリー」も同時開催しています。

下記のQRコードより参加できますので、秋のお出かけを楽しみながら、ぜひ参加してみてください。

（※1）仙台・松島湾エリア：仙台市、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町

（※2）山形県東南村山エリア：山形市、上市市、天童市、山辺町、中山町



参加はこちらから！